



女子柔道悲願の初優勝 (5人制となって初優勝)

7日、柔道女子チームが、準決勝で兵庫県と対戦。1-2でリードされ迎えた大将戦。梅津志悠(三井住友海上火災保険)が果敢に攻め、残り10秒で相手に指導が入り、2-2。内容勝ちで決勝へ。

神奈川県との決勝戦でも、5人の対戦を終え、2-2。代表戦にもつれ込んだ。本試合で引き分けた先鋒同士の代表戦となった。藤本彩月選手(敬愛高校)が攻め込み、相手選手を「指導3」に追い込み、勝負を決めた。

女子柔道がかつて成年と少年に分かれて実施されていた3人制での優勝から14年が経つ。昨年からは実施されている「女子」種別としては、初優勝となった。

頂点に立った選手たちは、「みんなの力で勝つことができた。」「福岡に貢献したくて、頑張りが続けたことができた。」と激闘を振り返った。



【労いの言葉をかける 県柔道協会・藤田会長】



【優勝を勝ち取った柔道女子チーム】

山岳競技 成年女子 ダブル入賞!

成年女子の宗 緋悠佳選手(ベアハンズクライミングジム)・新嵩萌香選手(ボルダリングジムホアホア)ペアが、リード競技とボルダリング競技で、それぞれ8位入賞を果たした。2人は、「国内トップとの差を痛感した。来年に向けて、もっと努力したい。」と語った。

また、少年男子の雪丸周平選手(城南高校)と緒方万佐也選手(朝倉高校)が、ボルダリングで7位入賞を果たした。



【緒方選手(左)と雪丸選手】

ウェイトリフティング 柳田瑞季 スナッチ3位!

7日、女子53kg以下級で昨年の世界選手権に出場した柳田選手(九州国際大学職員)が、スナッチ3位、クリーン&ジャーク5位に入賞した。ウェイトリフティングは、国際的に体重区分の改正があり、次の国際大会には、49kg以下級での出場が決まっている柳田選手は、この国体も49kg以下級で調整した。

ライバルも多い階級となるが、今後の国際大会での柳田選手の活躍に期待したい。



【柳田選手】

7日終了時点での総合成績順位

順位	都道府県名	獲得点
1	福井県	2563.0
2	東京都	2016.5
3	埼玉県	1684.5
4	大阪府	1566.0
5	神奈川県	1546.0
6	愛知県	1537.0
7	千葉県	1420.0
8	福岡県	1419.5
9	北海道	1285.75
10	兵庫県	1261.5
16	茨城県	1034.0

* 黄色は、昨年の結団式で示したライバル県

国体の情報については、大会ホームページ (<http://fukui2018.pref.fukui.lg.jp/>) より、ご覧ください。
※Facebookにおいても情報発信を行っています。「ふくおかスポネット」で検索してご覧ください。

【発信元】福岡県立スポーツ科学情報センター スポーツ推進課 企画情報係